

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索



NO. 302

2026.1.31

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

主な掲載内容

- 第5回定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～9
- 委員会審査…………… 10
- 市議会の状況…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

明るい選挙啓発ポスターコンクール受賞者の皆さん（於高崎市議会議場）

03 建築基準法関係手数料条例の一部改正（議案第135号）

申請に対する審査の結果、手数料の額に変更が生じる場合があること及び国が推進する建築確認におけるオンライン化に対応する必要があることから、手数料の徴収時期に特例を定めることにより申請者の利便性の向上と事務の効率化を図るため、所要の改正をするもの。

04 令和7年度一般会計補正予算 歳入歳出 30億9,344万円の増額（議案第141号、151号）

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ30億9,344万円を追加し、予算の総額を1,715億4,770万円とする。

■障害者福祉事業

- ・障害児通所給付費 4億6,994万円
- ・障害児相談支援給付費 2,413万円

■長寿センター運営事業

2,000万円

- ・六郷長寿センター空調設備更新工事
 - ・中川長寿センター空調設備更新工事
- それぞれの長寿センターの空調について不具合の発生している部屋の空調更新工事を行うもの。

■乳幼児等保健指導事業

- ・産後ケア委託料 3,000万円
- 受入れ体制や施設等の拡充が進んだことによる利用件数の増加見込みに対応するため増額するもの。

■用排水路管理事業

2,800万円

- ・遠隔水門等監視システム改修工事
- 水門を一元管理する遠隔操作制御盤について、アナログから光ケーブルへの変更と設備機器の改修を行うもの。
対象の水門は比較的大きな水路に設置されている18か所。

■道路施設メンテナンス事業

- ・橋りょう長寿命化工事 1,465万円
- 環状大橋の橋台及び橋脚のクラック補修を前倒し施工するもの。

■群馬中央第二土地区画整理事業

- ・用地買収費 1億549万円
- ・物件移転補償 1,349万円
- ・物件移転補償 9,200万円

■スマートIC周辺整備事業

- ・地質調査委託料 1,100万円

■物価高騰対策分の給食材料費を増額

- ・小学校 2,214万円
- ・中学校 1,310万円
- ・幼稚園 17万円
- ・特別支援学校 25万円



※万円未満は四捨五入しています。

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、継続審査となりました。

- 請願第6号
学校給食の無償化を求めることについて

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください。

- 気候変動の影響を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査を求める意見書



令和7年 第5回定例会

一般会計補正予算を可決

令和7年第5回定例会は、下記の日程により18日間の会期で開かれました。

本定例会では、一般会計・特別会計の補正予算などの議案47件及び議員提出議案2件を原案のとおり可決しました。なお、請願1件は継続審査、意見書案1件は可決となりました。

また、24人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

定例会の流れ | 会期：令和7年11月28日▶12月15日（18日間）

11/28 開会 議案上程、提案説明 ほか

12/ 1～4 24人の議員が市政に対して一般質問（※詳しい内容はP4～9）

12/ 8、9 常任委員会、特別委員会で付託された議案を審査（※詳しい内容はP10）

12/15 閉会 付託された議案等の委員長報告～議決 ほか（※審議結果はP12）

PICK UP 本定例会で可決した主な議案

01 公の施設の指定管理者の指定（議案第109号～議案第127号）

高崎市斎場、ハーモニー高崎ケアセンター、高崎市夜間休日急病診療所、サンライフ高崎、吉井物産センターふれあいの里等19施設の公の施設の管理を行わせるため、指定管理者を指定するもの。



吉井物産センターふれあいの里

02 一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（議案第130号） 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（議案第132号）

一時保護施設等に配置される児童指導員等の職員要件として、こども家庭ソーシャルワーカーの資格を有する者や精神保健福祉士の資格を有する者を追加するもの。

こども家庭ソーシャルワーカーとは、令和6年4月に創設された新しい資格の専門職で、児童相談所等で子どもや家庭が抱える様々な困難に対し、専門的な知識と技術に基づいて適切な支援につなぐ役割を果たす職のこと。

発達特性のある未就学児に対する支援
バイオマス資源の利活用



宮原田 綾香
(たかさぎ未来)



質問 本市の5歳児健診は、保護者アンケートで対象者を抽出しているが、巡回方式または、こども園等へのアンケートを活用する併用方式を採用する考えは。

答弁 本市では、こども発達支援課によるこども園等への巡回相談を実施しており、専門職員が担任や希望する保護者へ助言を行っている。当面は、現在の方法を継続し、より効果的な事業となるよう模索していきたい。

質問 阿久津水処理センターの老朽化に伴う建て替えの際には、し尿・生ごみ、下水道汚泥で発電するバイオマス利活用センターの建設が有効と思われるが、市の考えは。

答弁 現在の阿久津水処理センターだけでは、下水道汚泥の利活用ができないため、関係機関との連携を図りつつ、本市の特性に合った最適な取り組みを研究したい。

子育て支援



堀口 順
(市民クラブ)



質問 事情を抱える子どもの受け入れ先として、児童養護施設と里親制度の充実が重要であり、国が推進している里親支援センターの設置が必要と考えるが、本市の見解は。

答弁 里親の包括的な支援を一体的に行える里親支援センターの必要性は感じているが、現段階では制度的な枠組み等のさまざまな検討が必要であるため、今後先行自治体の取り組みを確認し検討したい。

質問 放課後児童クラブの支援員確保への今後の取り組みは。また支援員が長時間働けるよう学校職場で従事できる環境整備が必要だが、見解は。

答弁 令和8年度から一般社団法人高崎学童に事業を委託し、支援員のやりがい伝える取り組み等を共同で行うことを検討している。また、長時間働ける環境の整備についてはさまざまな課題があるため、今後研究したい。

スポーツによる本市のまちづくり



高橋 美奈雄
(市民クラブ)



質問 文化芸術、スポーツが生み出す都市の魅力と発展にどのような考えで今後取り組んでいくのか。

答弁 本市のスポーツ施設では多くの国際・全国大会を開催しており、また、高崎芸術劇場でも世界的な音楽家による公演が行われている。今後も文化、スポーツを通じ、市民や来客者に、高崎市民で良かった、また高崎に行きたい、住みたいと思ってもらえる魅力あるまちづくりに努めたい。


質問 若者の呼び込みが期待できるアーバンスポーツなどの施設の整備について、計画的に取り組む考えは。

答弁 本市には、吉井運動公園にスケートボード施設があり、多くの市民に利用されている。また、スケートボードやクライミングの民間施設もある。今後のさらなる整備は、競技人口の増加などを見守りつつ必要性を研究したい。

熊対策



角倉 邦良
(超党派の会)



質問 熊の出没情報などに関する近隣市町村との連携や、市民への情報提供の方法は。

答弁 市町村境周辺での出没情報を得た場合は、関係市町村間で速やかに情報共有を図っている。市民へは、安心ほつとメールの配信や防災無線、スピーカー車による注意喚起等を行うとともに、地域の区長や教育機関にも情報を共有している。なお11月26日に高崎市クマ出没SOS緊急ダイヤルを開設し、夜間や休日でもつながる体制を整えている。


質問 熊など有害鳥獣対策における、吉井地域の猟友会の体制は。

答弁 吉井地域では17人の猟友会員が市と猟友会で組織する鳥獣被害対策実施隊の隊員となっている。全員が散弾銃やライフル銃等を使って狩猟を行える第一種銃猟免許を所持しており、熊出没の際も捕獲ができる体制を整えている。


スケートボード、BMX、ブレイキンなど、広場やストリートなどの都市（Urban）の空間を舞台に繰り広げられるスポーツのこと。

小児慢性特定疾病の患者に対する市独自の支援策で、重度の難病を持つ子どもがテーマパークなどへ外出した際にかかった費用（チケット代、交通費等）の助成を行っている。

小学校の早朝7時開門



三島 久美子
(たかさぎ未来)



質問 小学校の早朝7時開門について、あらかじめ問題点や課題を洗い出し、対応を明確にすべきと考えるが、現場の教員への意見聴取はどのように取り組んでいくのか。

答弁 質問等は小学校長会を通じて市教育委員会に寄せられる仕組みのため、個別に先生方への意見聴取の予定はないが、質問等があった場合は、しっかりと対応していきたい。

質問 林間学校榛名湖荘は、市内の小学校5年生が自然体験学習の場として利用しているが、使用していない時期に一般客を受け入れてみてどうか。本市の考えは。

答弁 榛名湖荘は、毎年5月から10月は市内58校の小学校5年生が校外学習を行っている。児童が入校していない11月から4月は、施設の修繕などを行っているため、一般利用者への開放は難しいが、今後研究していきたい。

障がいのある子ども外出や通学の支援



小野 聡子
(公明党)



質問 難病ではなく障がいでも、小児慢性特定疾病児童等特別助成事業の対象とならず、制度拡充を検討できないか。また、保護者負担が大きい障がいのある子どもの通学について、支援を強化する考えは。

答弁 重度の身体・知的障害児も外出支援の対象とすべく、制度の拡充に向け具体的な検討を進める。また、ホームヘルパーが学校まで同行する通学支援を最長3カ月で実施している。通年での支援は、先進自治体を参考に研究したい。

質問 不登校に限らず幅広い子どもを対象に、匿名でも参加できるオンライン居場所づくりとして、教育版マインクラフトを活用する考えは。

答弁 不登校対策や教材として活用している自治体もあるが、ゲーム的要素が強く、依存や視力低下等の心配もある。今後他市の状況を注視したい。

地域防犯の取り組み



横田 卓也
(市民クラブ)



質問 自警団パトロール活動補助金事業における、今後の自警団編成への支援は。

答弁 現在編成を検討している地域には説明会を開催し、地域の実情に対応した編成が進められるよう随時相談に応じている。自警団編成により防犯意識や安心感がさらに高まり、地域内の安全・安心につながるように支援したい。

質問 民生委員を含む行政委員は成り手不足の状況であり、町内会には推薦に苦慮しているが、行政が支援する考えは。

答弁 各種行政委員は地域住民の声を行政につなげる重要な役割であり、地域を代表する町内会への推薦依頼は、行政への住民参加促進の観点から大切な取り組みと認識している。広報高崎やSNSを活用して活動の必要性を周知するほか、推薦に当たっての相談には、各所管課において事案ごとに丁寧に対応したい。

不登校児童生徒



新倉 哲郎
(超党派の会)



質問 スクールソーシャルワーカーを活用した不登校問題対策事業について、令和6年度の相談支援案件の解決割合が令和5年度に対し低下しているが、その要因は。

答弁 低下の要因について、一概に傾向は言えないが、近年の不登校に関する相談支援の内容は複数の要因が絡み合っており、さまざまな関係機関と連携した複合的な支援が必要な場合が多く、短期間での解決に至る事案が相対的に少なかったためと考えている。

質問 本市全体の人口減少は、全国や県と比較しても緩やかであるが、倉淵・榛名地域の人口動態と高齢化の状況は。

答弁 人口動向は、倉淵地域は減少傾向、榛名地域は横ばいからやや減少に転じるものとなる。特に倉淵地域では、年少人口の減少と老年人口の増加が継続しており、今後も同様の状況が見込まれる。

高崎市の放課後児童クラブは、地域や保護者を中心に運営を行っているが、負担を軽減するため、令和8年度から各クラブが、地域運営委員会方式の継続、高崎学童等外部への全部委託、業務の一部を委託する方法を選択できる運用となる。

一般財団法人日本財団電話リレーサービスが提供するサービスで、利用者がスマートフォン等を使いホームページ上の専用ボタンを押すだけで、手話通訳オペレーターを介して手話で直接問い合わせることができる。

質問 定住人口の増加に向けた本市のこれまでの施策は。

回答 移住・定住に直接つながる事業としては、移住支援金や移住促進資金利子補給金、SNSで本市の魅力を発信するPR事業を実施した。また、子育て支援や商工、農政、文化スポーツ等における本市独自の多様な施策が新たな定住人口の増加につながっている。と認識している。

質問 令和7年11月、国は人口戦略本部を設置したが、その内容と本市への影響は。

回答 公表されている内容は、若者や女性を含む誰もが自ら選んだ地域で住み続けられる社会の実現のため、社会保障サービスの維持、少子化対策の推進、地方の生活環境、地方経済の創生など、人口減少対策に総合的に取り組む方針が示されている。よい政策が打ち出された場合は本市の施策の推進に活用したい。

質問 放課後児童クラブの運営の負担が大きい。事務の一部を会計事務所等へ委託しているクラブがあるが、選択的委託制度導入後も現在の会計事務所等を継続して利用することができるか。

回答 選択的委託制度においても、一部委託の活用は継続可能であり、現在委託している会計事務所等を継続して選択することも可能である。

質問 自警団の名称で現在も外国人差別を行っている団体もあることへの認識は。また、事業名称を変更する考えは。

回答 外国人への偏見や差別については、他の人権問題同様に課題解決に向け取り組んでいる。パトロール活動補助金事業の名称は、自らの力で自分たちの地域を警戒するという強い意志を示すため自警団とした。現在のところ名称変更の予定はないが、任意の名称での届け出が可能である。

質問 上信電鉄は、日常生活を支える重要な交通機関である。利用者を増やすために、イベントの実施が効果的と考えるが、本市の支援の考えは。

回答 本市では、県や沿線の市町村と連携し、上信電鉄の利用につながることを目的としたスタンプラリーなどのイベント開催、オリジナルグッズの作成などの支援を行っている。引き続き利用者の確保に向けた支援に取り組みたい。

質問 2029年、本県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されるが、障害者に対するスポーツの振興をどのように進めるのか。

回答 本市は、障害のある人にボッチャなどの軽スポーツ用具の貸し出しや、出前講座として運営の手伝い等を行っている。今後事業を継続し、障害のある人でもスポーツを楽しめるよう、障害の種類や程度に応じた支援に努めたい。

質問 吉井地域には合併前から防災行政無線があるが、故障の声も多い。現在の運用状況と設置、故障箇所数は。

回答 箕郷、新町、榛名、吉井地域は合併前に整備した無線があり、災害や時報、有害鳥獣出没情報等を発信している。設置数は箕郷17、新町25、榛名96、吉井60力所で、故障数は箕郷3、新町1、榛名3、吉井12力所である。整備後30、40年が経過し、故障も生じているが、順次修繕している。

質問 防災行政無線は、地域住民にとって大切な情報ツールである。過去に廃止の情報もあつたが、今後の見通しは。

回答 本市の防災行政無線は、電波法令により令和4年11月までとされていたが、他の無線局の運用に妨害を与えない場合に限るとの条件で、使用期間が当分の間に改正された。今後も引き続き使用可能な期間の範囲内で運用したい。

3次元のデジタル空間において、自由に冒険やまちづくりなどを楽しめるインターネット上のゲームのこと。教育現場向けに特化した教育版もある。

侵入窃盗犯罪の発生地域や高齢化率が高い地域で自警団を編成し、パトロール活動を強化する地域へ財政面の支援をするため令和7年10月に市が創設した補助制度。徒歩や自転車、青色回転灯装備車による巡回、消防団による夜間巡回の方法でパトロールすることを編成要件としている。

質問 本市で行っている婚活支援の内容と実績は。また、マッチングアプリを活用した出会いの場を創出する考えは。

回答 たかさき縁結び応援団、婚活支援事業、倉渕出会い支援事業で婚活の支援を行い、274組のカップルが成立した。また、マッチングアプリは、気軽に婚活ができるが、詐欺や犯罪等の危険性もある。引き続き有効性を研究したい。

質問 自警団を結成した地域に活動費等を補助する制度がスタートしたが、編成状況は。また、青色回転灯装備車によるパトロール、いわゆる青パトの実施に必要な手続きは。

回答 現在、城山、南陽台、里見、西部地区で自警団が編成され、活動を行っている。また、青パトの実施には、警察と運輸支局への手続きが必要となる。本市は、どちらの手続きへもサポートを行い、青パト活動を推進している。

質問 放課後児童クラブの運営の負担が大きい。事務の一部を会計事務所等へ委託しているクラブがあるが、選択的委託制度導入後も現在の会計事務所等を継続して利用することができるか。

回答 選択的委託制度においても、一部委託の活用は継続可能であり、現在委託している会計事務所等を継続して選択することも可能である。

質問 自警団の名称で現在も外国人差別を行っている団体もあることへの認識は。また、事業名称を変更する考えは。

回答 外国人への偏見や差別については、他の人権問題同様に課題解決に向け取り組んでいる。パトロール活動補助金事業の名称は、自らの力で自分たちの地域を警戒するという強い意志を示すため自警団とした。現在のところ名称変更の予定はないが、任意の名称での届け出が可能である。

質問 小学校の早期開門について、全群馬教職員組合、高崎市教職員組合のアンケートの中で、回答者の圧倒的多数が見直しを求めている結果をどのように受け止めているか。

回答 アンケート結果は承知しており、市内小・中学校の教職員の約2割が見直しを求めているとのことだが、本施策は時代のニーズに即したものと認識しているため、来年度からの実施に変更はない。

質問 事業の強行により、取り返しのつかない事故や市教育委員会と学校との信頼関係が崩壊する恐れもある。白紙にして制度設計を検討すべきと考えるが、本市の見解は。

回答 これまでも小学校長会や高崎市立学校職場臨時・嘱託職員労働組合等に対し、本施策の目的等を説明し理解を得ている。各団体から質問や相談等はなく、本施策を白紙に戻すことは考えていない。

質問 平成29年に施行された高崎市手話言語条例は、議員提出議案として全会一致で可決、成立したものであるが、条例制定後の手話に関わる施策の実施状況は。

回答 記念フォーラムや手話イベントの実施、障害者支援SOSセンターへ手話通訳士2人を配置、テレビ電話・遠隔手話サービスの導入、避難所でのコミュニケーション支援ボードや災害時障害支援バングダナの配備など、さまざまな施策を行っている。今後も手話施策を推進したい。

質問 高崎市ホームページに手話リンクを設置する考えは。

回答 手話リンクの導入は、手話通訳士が不在の場合でも直接手話で問い合わせることができ、手話が必要とする人の情報保障の手段の一つとして大変有益と考える。今後、必要な事項を整理した上で、導入に向け検討する。

定住人口増加に向けた諸課題

林 恒徳 (市民クラブ)

地域公共交通

中島 輝男 (市民クラブ)

本市の情報伝達手段

樋口 哲郎 (新風会)

持続可能な高崎市のまつり

高橋 淳 (新風会)

婚活支援策

中村 さと美 (公明党)

放課後児童クラブの運営委託による影響


金子 和幸 (日本共産党)

小学校の早期開門問題

伊藤 敦博 (日本共産党)

手話に関わる施策の推進

松本 賢一 (新風会)


● **ペアレントメンター**
● **日本語指導スーパーバイザー**
● **言語指導者**

発達に特性のある子どもを育てた経験を持つ保護者が、相談者である保護者の不安や孤立感の軽減を目的とした、保護者同士の共感的立場から子育てを支援するもの。

学校を巡回し、児童・生徒への日本語指導や担任等への日本語指導の在り方の助言を行う県の事業。高崎市には1人配置されている。

支援が必要な児童・生徒に対し日本語指導や学習支援などの派遣を行う市独自の事業。現在、29人の言語指導者により11か国語に対応している。

質問 本市における農業の将来像と農地利用の方針を示す地域計画の策定状況は。

回答 本市では29の人・農地プランをベースに地域計画の策定を進め、令和7年3月に高崎地域8つ、倉渕、箕郷、群馬、榛名および吉井地域でそれぞれ1つ、合計13の地域計画を策定した。1回目の協議の場を8月から9月に開催し運用を始めている。

質問 地域計画における、地域内の農業を担う者の構成は。

回答 本市の地域計画では、地域内の農業を担う者は519経営体あり、このうち農業経営改善計画の認定を受けている認定農業者が257経営体、青年等就農計画の認定を受けている認定新規就農者が41経営体、認定農業者と同等の農業経営の指標に達した、または達する見込みのある水準到達者は25経営体と、全体の約62%を占めている。

質問 一時保護された子どもは施設内で学習すると聞く。一時保護中の学習の状況、支援体制、また課題等は。

回答 習熟度や理解度に応じ、子どもを3つの学習室に分け、3人の教員経験のある学習指導員が教科書やプリントを中心に学習指導を行っている。また、プリント学習中心のため、本市もタブレット端末の活用について検討したい。

質問 発達に特性のある子どもとその保護者への支援として、ペアレントメンターの活用が必要と考えるが、本市の支援体制や今後の展開は。

回答 こども発達支援課では、来所相談や市内の保育園等への巡回相談の実施等により、適切な支援につながるよう関係機関へ橋渡しを行っている。これまでどおり寄り添いながら支援を提案するとともに、今後ペアレントメンター制度の活用についても検討したい。

質問 外国籍や海外からの帰国などにより、日本語指導が必要な児童・生徒が増加しているが、対応状況と課題は。

回答 各学校において、主に日本語指導スーパーバイザーと言語指導者が対応している。課題は母国語の指導者がおらず第二言語となる等、多様化する言語への対応が挙げられる。人材確保とともに今後も状況に応じた対応に努めたい。

質問 多文化共生の推進に関する計画や指針はあるのか。

回答 計画等はないが、第6次総合計画で主要施策に掲げ、異なる文化や価値観を認め合う多文化共生社会の実現に取り組んでいる。また、令和7年に開設した外国人相談支援センターの外国人相談員が多文化共生のアドバイザー的な役割を担う他、さまざまな事業も行っている。引き続き多文化共生社会の構築に努める。

質問 市道の維持管理における日常的な道路補修の現状と、水路の管理状況は。

回答 令和5年度から穴ぼこ改修特別整備事業により集中的に道路補修を実施している。適切な補修方法を選定の上、土木事業者等に発注するほか、小規模な道路補修や不法投棄物の回収処分、水路のしゅんせつ等については、道路維持課補修事務所の職員が迅速な対応に努めている。

質問 高崎駅西口駅前広場の照明灯は半分近くが消えた状態である。改善する考えは。

回答 大型照明灯は、本市が平成2年に2基設置し維持管理している。北側の照明灯の一部が点灯していない状況を確認しているが、照明灯の昇降設備が動作せず器具が降下しないため、現在原因等を調査している。改善につながる対策を財政状況等も踏まえ研究していきたい。

● **燻蒸**
● **RSウイルス**

害虫駆除やカビ防止、殺菌を目的として、専用の薬剤をガス状にして対象物に浸透させる方法。

呼吸器系に感染するウイルスで、感染力が強い。生後6カ月未満の乳児が感染すると重症化することがあるため、生まれてくる子の予防を目的に、妊娠28週から37週に至るまでの妊婦を対象として、RSウイルスワクチン接種が令和8年度から定期接種となる。

質問 生誕160年を迎えた村上鬼城の価値を今後どのようにに広める考えか。また、貴重な資料の保管方法や記念館への分かりやすい道案内は。

回答 生誕160年をきっかけとした事業を継続すること、で俳句文化の振興に努めたい。また、資料は状態により燻蒸を行い、適切に管理していく。記念館への道案内は、道路が狭く複雑なため、より分かりやすい方法を検討したい。

質問 令和8年度より定期接種となるRSウイルスワクチンの接種事業の具体的な実施方法と財源は。

回答 国の情報を注視しつつ、今後郡市医師会等と協議しながら勸奨や接種方法等の検討を進める。財源は、定期接種の実施主体である市の一般財源で賄われるが、RSウイルスはA類疾病に分類されるため、接種費用の9割程度が地方交付税として措置される。

質問 小学校の早朝開門は、校務員や教職員の負担なく子どもの安全を確保するために、シルバー人材センター会員など地域の見守り員の活用が有効と考える。そのような人材を採用し配置する考えは。

回答 現在各学校では、始業までの間、先生方が必ずしも見守っているわけではなく、見守り員も配置していない。本施策は、これまでの始業前の過ごし方と同様のため、見守り員を配置する考えはない。

質問 合同墓の必要性をどのように認識しているのか。また、墓地継承への不安解決のため、合同墓の整備を今後具体的に進める考えはあるのか。

回答 これまで墓所形態を研究したが、さまざまな意見があり、引き続き慎重な市民ニーズの把握が必要と認識している。墓所整備は、県内外の事例を参考に今後も適切な施設の在り方を調査研究したい。

質問 本市において熊が出没した際には、どのような対策をしているのか。


回答 本市で出没した熊は、市と猟友会で組織する鳥獣被害対策実施隊で対応している。目撃現場を確認し、現場に熊の姿がない場合でも、目撃情報や現場確認の結果に基づき、安心ほっとメールの配信や、スピーカー車、防災無線による市民への注意喚起、地元区長や教育機関へ連絡を行う。また、周辺の被害状況や痕跡に応じて箱わなを設置して捕獲を試みる。現場に熊がいる場合には、市民への注意喚起や安全への配慮とともに、音を鳴らすなどして追い込みを試み、追い払いが出来ない場合には、周辺の状況を確認し、猟銃や麻酔銃による捕獲を検討するなど、いずれの場合も市民の安全を最優先に考慮し、関係機関と連携しながら対応をしている。

質問 農地の有効利用には、貸し手と借り手のマッチングが重要だが、本市の取り組みは。また、集落営農組合等への農業機械更新の支援策は。

回答 マッチングは、地域計画の協議の場での話し合いが効果的であり、今後も機会の創出に努めていく。また、農業機械の更新に対する国や県の補助はないが、本市では公社を通じて、集落営農組織等を対象に補助率3分の1、200万円を上限に支援している。

質問 入居率の低い市営住宅は、共益費の負担が増加傾向だが、助成の考えは。また、入居ルール緩和の取り組みは。

回答 助成については、現在の共益費が一般家庭と比べ大きいかなどを見極め、他自治体を参考に研究したい。また、入居ルールは、令和3年に連帯保証人の要件を撤廃した。入居希望を妨げず入居率が向上するよう研究していく。


新保 克佳
(公明党)

高崎が誇る境涯の俳人・村上鬼城
妊婦へのRSウイルスワクチン接種


谷川 留美子
(超党派の会)

小学校の早朝開門
合同墓の新設


大河原 吉明
(新風会)

本市における有害鳥獣対策


長壁 真樹
(新風会)

本市の農業振興
本市の市営住宅

令和7年 市議会の状況

令和7年中に開催された本会議や委員会等の開催状況と視察の受け入れ状況をお知らせします。

本会議

区 分	会 期	会期日数	会議日数	一般質問者数	傍聴者数
第1回定例会	2月20日～3月18日	27日	8日	25人	91人
第2回臨時会	5月16日	1日	1日	－	1人
第3回定例会	6月10日～6月25日	16日	6日	27人	88人
第4回定例会	9月9日～9月30日	22日	5日	20人	99人
第5回定例会	11月28日～12月15日	18日	6日	24人	90人
計		84日	26日	96人	369人

委員会等

区 分	会議等 開催回数	付託議案等の数	
		議 案	請 願
常 任 委 員 会	41回	130件	6件
特 別 委 員 会	15回	15件	－
議 会 運 営 委 員 会	28回	－	－
各 派 代 表 者 会 議	15回		
広 報 委 員 会	5回		

視察受け入れ

本市が先進的に取り組んでいる事業について全国から視察がありました。

受入団体数	27団体	受入人数	239人
主な視察内容		件数	
ヤングケアラー SOS		5件	
子育てSOSサービス		3件	
新町防災アリーナ／はいかい高齢者救援システム 介護SOSサービス／子育てなんでもセンター 高崎芸術劇場／まちなか商店リニューアル助成 高崎ブランド・シティプロモーション(絶メシリストなど)		2件	

市議会の予定

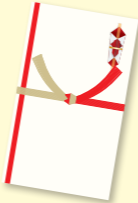
2月		定 例 会
20日(金)	午後 1 時	開会、会期の決定、施政方針など
24日(火)	午後 1 時	議案の提案説明
25日(水)	午後 1 時	総括質疑
26日(木)	午後 1 時	一般質問
27日(金)		
3月		
3日(火)	午後 1 時	一般質問
4日(水)		
9日(月)	午前10時	総務常任委員会
	午後 3 時	防災・危機管理対策特別委員会
10日(火)	午前10時	教育福祉常任委員会
	午後 3 時	子育て支援・定住人口増加対策特別委員会
11日(水)	午前10時	市民経済常任委員会
	午後 3 時	環境施設調査特別委員会
12日(木)	午前10時	建設水道常任委員会
	午後 3 時	都市集客施設整備特別委員会
18日(水)	午後 1 時	委員長報告、議案等の議決、閉会

議員は贈らない!
有権者は求めない!

議員の寄附行為は
禁止されています

——禁止されている主な内容——

- 葬儀などの香典や
結婚披露宴での祝儀
本人出席の上、通常一般の社交の
範囲であるときを除く。
- お中元やお歳暮を贈ること
- 暑中見舞いなど
時候のあいさつ状
答礼のための
自筆によるものを除く。
- 議員に寄附を求めること



傍聴席で

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会棟5階にある傍聴受付で住所・氏名を記入して入場してください。
傍聴席は、車いす用の2席を含め78席あります。
ぜひお出かけください。



インターネットで

本会議の様様をライブ中継や録画配信しています。市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。
スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。



委員会審査

総務常任委員会

質疑 ▶ くらぶちこども天文台運営事業の各所改修工事の内容は。

答弁 ▶ 天文台の出入口付近の床材が腐食し、破損する危険性があるため、床板の張替えと風雨や積雪を防ぐためのひさしの設置等に要する経費を計上するものである。



くらぶちこども天文台

市民経済常任委員会

質疑 ▶ 債務負担行為の補正における小栗記念館（仮称）建設補助金の内容は。

答弁 ▶ 小栗上野介の墓がある東善寺において、これまで独自に記念館の建設が検討されていたが、2027年のNHK大河ドラマの放映が決定したことにより、地元の有志で組織する小栗顕彰会が一般社団法人となり、建設工事と管理運営を担うこととなった。
本市としても、小栗公の功績を多くの市民に知ってもらいたい考えがあることから、建設費用の一部を支援するものであり、早期着工につながるよう、今年度中に債務負担行為を設定し、対応するものである。

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 ▶ こども家庭ソーシャルワーカーの概要は。

答弁 ▶ こども家庭庁が管轄する新たな認定資格であり、子どもが健やかに成長できる環境を整える役割を担うことが期待されている。

質疑 ▶ 現在の配置状況と今後の人材育成は。

答弁 ▶ 資格を有する職員が1人在職している。また、幅広い現場での活躍が期待されることから、他の児童相談所の動向を踏まえ、職員の資格取得について検討したい。

常任委員会および特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑、答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 ▶ 倉渕福祉センター等の指定管理者の指定について、今後も人件費の高騰が見込まれるが、指定管理料はその分も加味し設定しているのか。

答弁 ▶ 指定期間である5年間の経済状況等をあらかじめ鑑みて積算しており、また、特別な事情が生じたときなどは、協議の上、協定の規定を変更することができることとしている。

質疑 ▶ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の内容は。

答弁 ▶ 市町村が実施する健康診査の内容が、家庭的保育事業や保育所にて実施する健康診断に相当すると認められるときは、保育所等における健康診断の全部または一部を省略できることとなった。

建設水道常任委員会

質疑 ▶ 長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について及び都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正について、各法律に基づく認定件数と環境政策としての普及促進の取組は。

答弁 ▶ 法律の施行から昨年度末までの認定件数は、長期優良住宅が7,250件、都市の低炭素化の促進に関する法律に基づいた建築物が117件となっている。

法律の趣旨や優遇措置については、国のホームページに掲載されており、本市のホームページでは申請手続や必要書類等を案内しているが、今後関係部局と連携し、広く周知を図っていきたい。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 ▶ 繰越明許費の補正において、スマートIC周辺整備事業A地区連絡橋詳細設計委託及び地質調査委託の繰越理由は。

答弁 ▶ 隣接するパーク型商業施設との連続性やランドスケープの一体感を考慮して、基本的な仕様の検討、調整を行う必要があるが、その調整に不測の日数を要し、業務が令和8年度に及ぶことから、繰り越すものである。

議案等審議結果

件 名		結 果
報 告		
第8号	専決処分の報告	—
議 案		
第109号	市斎場	可決
第110号	倉洲福祉センター等	可決
第111号	榛名福祉会館等	可決
第112号	南八幡ふれあい館	可決
第113号	ハーモニー高崎ケアセンター	可決
第114号	社会就労センターセルフ楽間	可決
第115号	昭和町福祉作業所	可決
第116号	新町福祉作業所	可決
第117号	群馬福祉作業所	可決
第118号	吉井障害者自立支援センター	可決
第119号	群馬長寿センター	可決
第120号	新町長寿センター等	可決
第121号	倉賀野児童館等	可決
第122号	夜間休日急病診療所	可決
第123号	休日応急歯科診療所	可決
第124号	サンライフ高崎	可決
第125号	クラインガルテン	可決
第126号	榛名湖温泉ゆうすげ元湯等	可決
第127号	吉井物産センターふれあいの里	可決
第128号	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	可決
第129号	職員等の旅費に関する条例の全部改正	可決
第130号	一時保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第131号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第132号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第133号	指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第134号	指定障害児入所施設等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第135号	建築基準法関係手数料条例の一部改正	可決

件 名		結 果
第136号	長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正	可決
第137号	都市の低炭素化の促進に関する法律関係手数料条例の一部改正	可決
第138号	建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律関係手数料条例の一部改正	可決
第139号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議	可決
第140号	群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議	可決
第141号	一般会計（第5号）	可決
第142号	国民健康保険事業特別会計（第2号）	可決
第143号	介護保険特別会計（第2号）	可決
第144号	牛伏ドリームセンター事業特別会計（第1号）	可決
第145号	後期高齢者医療特別会計（第2号）	可決
第146号	農業集落排水事業特別会計（第1号）	可決
第147号	水道事業会計（第1号）	可決
第148号	公共下水道事業会計（第1号）	可決
第149号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決
第150号	特別職の職員の期末手当の支給に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	可決
第151号	一般会計（第6号）	可決
第152号	国民健康保険事業特別会計（第3号）	可決
第153号	介護保険特別会計（第3号）	可決
第154号	水道事業会計（第2号）	可決
第155号	公共下水道事業会計（第2号）	可決
請 願		
第6号	学校給食の無償化を求めること	継続審査
議員提出議案		
第4号	議会事務局設置条例の一部改正	可決
第5号	議員派遣（広報委員会行政視察）	可決
意見書案		
第1号	気候変動の影響を踏まえた治水機能増強のための迅速な調査を求める意見書	可決（多数）

※可決（多数）表記以外は全会一致です。

賛否一覧表（上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。）

意見書案番号	会派名	新 風 会 19人																	市民クラブ 6人					公明党 5人			たかさき 未来 3人	超党派 の会 3人	日本 共産党 2人											
	議員名	渡辺 高橋	樋口 哲郎	大河原 吉明	青木 和也	後藤 彰	時田 裕之	青柳 隆	根岸 赴夫	渡辺 幹治	白石 隆夫	長壁 真樹	大竹 隆一	松本 賢一	柄沢 高男	石川 徹	後閑 賢二	丸山 和久	柴田 和正	横田 卓也	三井 暢秀	中島 輝男	林 恒徳	堀口 順	高橋 美奈雄	中村 さと美	小野 聡子	新保 克佳	丸山 覚	逆瀬 川義久	宮原 田綾香	荒木 征二	三島 久美子	新倉 哲郎	角倉 邦良	谷川 留美子	金子 和幸	伊藤 敦博		
	意見書案番号	隆宏	淳																																					
	第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※起立採決により、賛成として起立した者は○、起立しなかった者は×、欠席は欠としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

